

学校生活（R6年度）

行事・部活など

土木建築系の体験的な学習

「志輝祭での橋の大型模型展示（7月6～7日）」

今年の志輝祭では土木系を選択する生徒の有志が、自分たちが学ぶ分野の紹介として土木分野の代表的な構造物である「橋」を製作し展示したいと、人が渡れるサイズの大型模型づくりに挑戦しました。

設置・撤去の容易さや繰り返しの展示、加工のしやすさなどを考慮し、山口県の「錦帯橋」をモデルとした木製の桁材を差し込み帯筋金物で固定するアーチ橋としました。全長 5.6m、幅 1m、高さ 1.4m です。5月中旬から着手し、放課後の2時間ほどを利用し製作に励みました。今まで使ったこともない道具に四苦八苦でしたが、怪我の無いよう、失敗しないよう、慎重に工程をこなし、道具使いもしだいに上達しました。帯筋金物の製作では、機械科の先生にご指導ご協力いただき、機械科の加工機を使わせてもらう貴重な体験を経て完成を目指しました。土木建築科にある道具や器具・機械を総動員し、試行錯誤しながらでしたが、志輝祭での展示という期限に間に合うよう協力して取り組みました。

志輝祭当日は、正門アーチをくぐって直ぐの場所に展示し、多くの来校者に渡ってもらいました。また、組立式なので15分ほどの組み立てを来校したご家族に体験してもらうこともできました。

何もないところから計画し、ホームセンターで売っている棒材が自分たちの加工で徐々に部品として形になり、組み上げると人に渡ってもらえるほどの大きな構造物につくり上げることが出来た実体験は、ものづくりの魅力や面白さ、むずかしさに触れる貴重なものでした。また、自分たちが学ぶ土木のものづくりの一端を多くの人に紹介できた体験は、有意義な取り組みとなりました。

